

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

鳥根県 出雲市

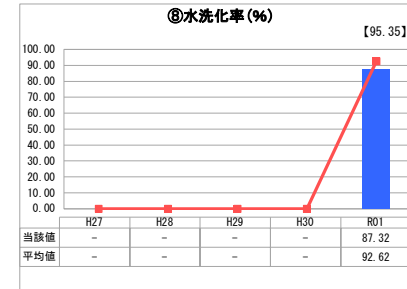
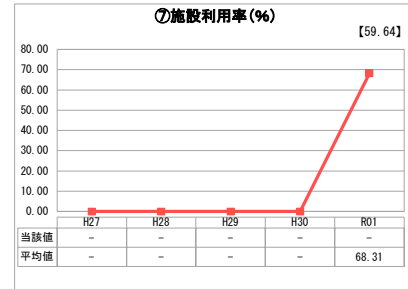
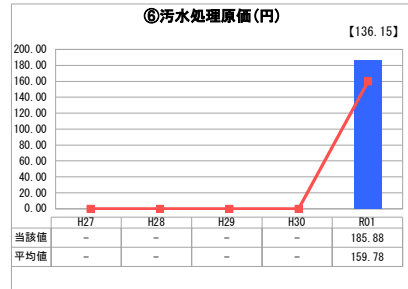
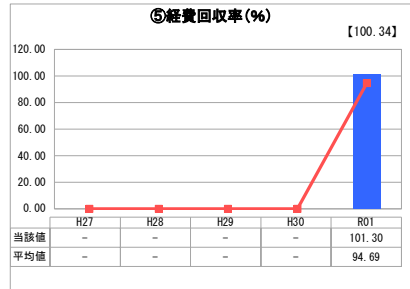
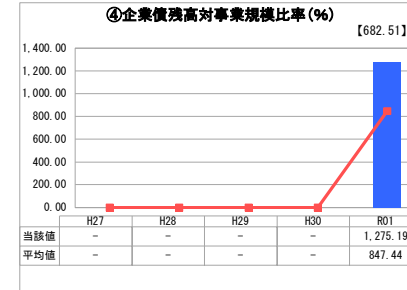
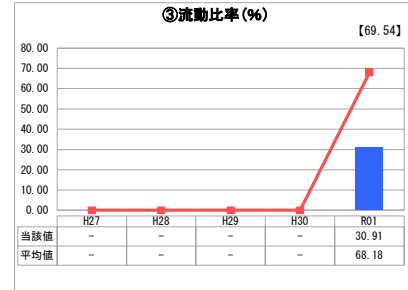
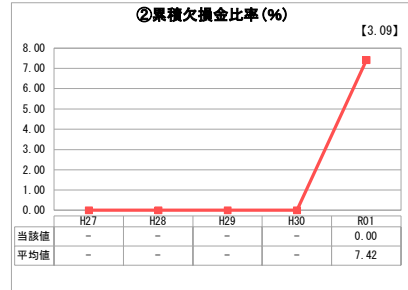
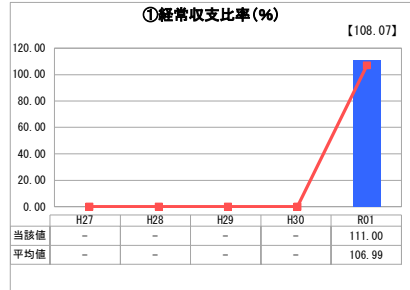
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金 (円)
-	39.18	47.27	91.05	3,352

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
174,995	624.36	280.28
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
82,621	29.46	2,804.51

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

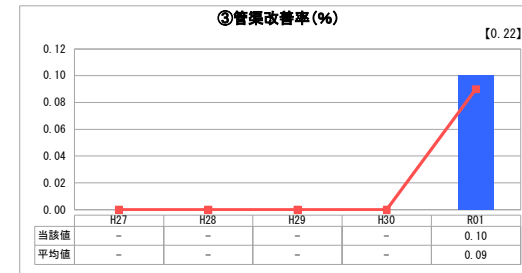
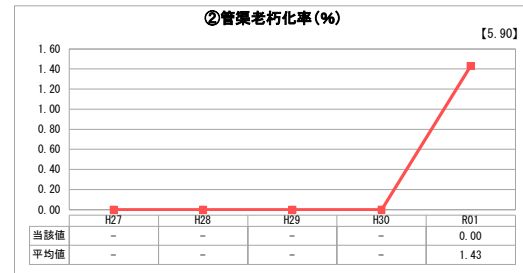
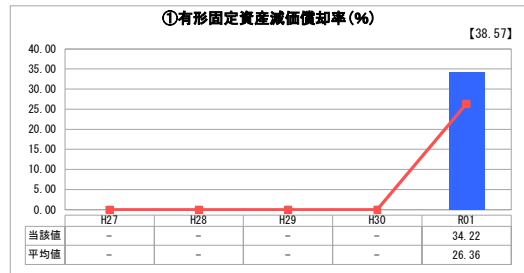
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率 単年度の収支は黒字であり、類似団体を上回っている。
- ② 累積欠損金比率 欠損がないため、表示されない。
- ③ 流動比率 流動資産と比較して、企業債償還金等の流動負債が多く、類似団体を下回っている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率 現在も未普及解消事業を継続しているため、下水道使用料は増加し、企業債残高は年々減少しているが、類似団体を上回っている。
- ⑤ 経費回収率 新規接続等により下水道使用料は年々増加し、汚水処理に係る費用を賅っているため、類似団体を上回っている。
- ⑥ 汚水処理原価 維持管理費等の汚水処理に係る費用と比較して、新規接続等により、有収水量は増加しているため、類似団体を上回っている。
- ⑦ 施設利用率 処理施設を所有していないため、表示されない。
- ⑧ 水洗化率 未普及解消事業を継続しているため、類似団体を下回っている。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率 管渠については、耐用年数には至っていないが、供用開始後31年を経過しているため、資産の老朽化が進んでおり、類似団体を上回っている。
- ② 管渠老朽化率 供用開始後31年を経過しているが、まだ耐用年数を経過していないため、表示されない。
- ③ 管渠改善率 管路調査等により判明した不良箇所について計画的に更新を行っているため、類似団体と同程度となっている。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

公共下水道事業は、供用開始から31年を経過して、管渠の耐用年数には至っていないものの、ポンプ等の機器類の老朽化は進み、今後、維持管理費や下水道施設の更新のための支出は増加する状況にある。

経営状況については、公営企業会計となつて初めての決算であり、前年度との比較ができないが、類似団体に比べ、経常収支比率、経費回収率は高いが、企業債残高対事業規模比率や汚水処理原価も高くなっている。

老朽化の状況については、管渠は耐用年数にいたっていないため、数値には出てきていないが、類似団体に比べ、有形固定資産減価償却率が高くなっていることから、老朽化は進んでいる。

このような厳しい経営状況の中、汚水処理施設整備計画及び策定中のストックマネジメント計画を基に、財政状況を見ながら適正な管理運営を行っていくこととしている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。